

ワールドユニバーシティーズゲームズ 2021（成都）水球競技トレーナー帯同

2023年7月27日～8月8日に中国・成都で開催された本大会に日本オリンピック委員会（以下、JOC）派遣の水球日本代表チーム（男子・女子）に、トレーナーとして帯同しました。

ワールドユニバーシティーズゲームズ（旧ユニバーシアード大会）とは国際大学スポーツ連盟が主催する総合競技大会で、全世界の学生たちが集まり、一般に「学生のためのオリンピック」と呼ばれています。

水球日本代表は男子が8位、女子が4位という結果で終了しました。

トレーナー業務として選手のコンディショニング及び試合中の外傷への対応、練習前・試合前の陸上でのウォーミングアップ及びクールダウン後のストレッチ指導を行いました。

今大会は福岡で行われた世界水泳選手権（以下、世界水泳）と時期が重なっていたこともあり、オーバーエイジの選出がない現役大学生のみのメンバー構成となりました。A代表と比べると選手自身による外傷回避の対応も稚拙感は否めず、昨年帯同したハンガリー・ブダペストでの世界水泳時の対応と比べ外傷の数が多い印象でした。また3週間という長期遠征で疲労も蓄積していたと考えられましたが、選手・スタッフ共に体調を崩すこともなく帯同を終えることができました。

また今回は男女合わせトレーナー1人の選出・現地対応となった為、男女の試合日程が重なった時にはJOC本部の医師・トレーナーの協力を仰ぎ、試合帯同及び外傷への対応を連携し行うことが出来ました。

日本代表として海外遠征帯同は大きな経験となりました。今後は水球を含むスポーツ支援活動及び臨床業務に役立てていきたいと思えます。

